

2022.1.31 Mon
18:30 OPEN/19:00 START

札幌でも珍しい、ロマンティック・ラフマニノフプログラム！

第1522回 札幌市民劇場

MEI TAKEDA CELLO RECITAL

武田芽衣 チェロリサイタル

ピアノ
PIANO

高実希子



ヴァイオリン
VIOLIN

田代裕貴



ラフマニノフに魅せられて
Сергей Васильевич Рахманинов

ピアノ三重奏曲第1番 ト短調 “悲しみの三重奏曲”

Trio élégiaque No. 1 in G Minor

チェロのための2つの作品 作品2 前奏曲、東洋の踊り

2 Pieces, Op.2 : No.1 Prelude No.2 Danse orientale

チェロソナタ ト短調 作品19 ほか

Cello Sonata in G Minor, Op. 19



会場 ふ・きつとうホール

札幌市中央区北4条西6丁目3-3
六花亭札幌本店6階

チケット料金（全席自由席）

前売券 3,000 円

当日券 3,500 円

チケットのお取り扱い

道新プレイガイド

011-241-3871

市民交流プラザチケットセンター

0570-00-3871

教文プレイガイド

011-271-3355

お問い合わせ:takedamei.recital@gmail.com

MEI TAKEDA CELLO RECITAL

チャイコフスキーなど19世紀ロシア音楽の後継として、燦然と輝くラフマニノフ。

ピアノ曲の作曲家として親しまれていますが、

ここに、当時の偉大なチェリストに影響を受けて書かれた名曲を並べました。

起伏に溢れた哀愁と抒情の世界、チェロとピアノでラフマニノフの一夜を紡ぎだします。

CELLO 武田 芽衣 MEI TAKEDA

7歳よりチェロを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て、同学園大学チェロ科を首席で卒業。サイトウキネン若い音楽家の為の室内楽講座、京都国際音楽祭、宮崎国際音楽祭、PMF音楽祭、JTアートホール若い芽のコンサート、サントリーホール主催レインボウ21、アフィニス音楽祭小澤征爾音楽塾、等に出演。06年桐朋学園オーケストラ（秋山和慶指揮）とエルガーのチェロコンチェルトを共演。

09年札幌交響楽団入団。日演連演奏会にて札幌（高関健指揮）とブラームスのドッペルコンチェルトを共演。12年アフィニス文化財団より奨学金を受けウェン・シンヤン氏のもとで1年間研鑽を積む。

これまでに、故徳永兼一郎氏、藤森亮一氏、毛利伯郎氏、岩崎洸氏に師事。



VIOLIN

田代 裕貴 YUKI TASHIRO

スウェーデンを拠点とし、イエーテボリ歌劇場管弦楽団（Göteborgs Operans Orkester）第2ヴァイオリン首席奏者、紀尾井ホール室内管弦楽団メンバーとしての活動を軸に、欧州と日本でのオーケストラへの客演や室内楽の演奏を行なっている。コンテンポラリーダンスとの作品制作に携わることや、和楽器との共演も多い。

4歳よりヴァイオリンを始め古谷達子、古谷いづみ、小林健次、Natalia Boyarsky 各氏に師事。桐朋学園大学音楽学部卒業ののち渡英、2008年ロンドン王立音楽大学大学院にてディプロマを最高位で取得し修了。

PIANO

高 実希子 KOH MIKIKO

函館市出身。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻首席、(公財) ロームミュージックファンデーション奨学生として、パリ国立高等音楽院卒業。ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 大学生部門最高位、イル・ド・フランス国際ピアノコンクールドビュシー特別賞他、国内外で多数の受賞歴を持つ。2016年、モーツァルトが演奏したイタリア・ヴェローナマフェイアーナホールでアジア人初のソロリサイタルを行い成功を取る。ロシア・マリインスキー劇場管弦楽団首席チェロ奏者オレグ・センデツキー氏や、パリ管弦楽団チェロ奏者佐藤光氏を始めチェリストからの信頼も厚く、各地でリサイタルピアニストを務める。現在ソロ・室内楽において国内外で演奏活動を行う。函館短期大学非常勤講師。(公社) 日本演奏連盟、北海道桐朋会各会員。青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会委員。令和2年度函館市文化団体協議会青麒麟章受章。

